



# 道徳教育だより



足利市立矢場川小学校  
平成29年12月15日

矢場川小学校では、毎年人権週間に合わせ、12月の授業参観では、道徳の授業を行っています。「友達と仲良くする」「相手の立場を考える」「身近な人々と協力する」など、道徳教育は、人権教育とも深く結びついています。

先日の授業では、どのクラスでも、自分のこととして考えたり、友たちと話合ったりして、学習する姿を見ていただけたのではないかと思います。今回の道徳の授業が、ご家庭で、道徳について考えるよい機会となっていたら幸いです。

今回の「道徳教育だより」では保護者の皆様の感想の一部を紹介したいと思います。

## 3年2組の授業



「ぬれた本」という教材を読み、真心からの行いについて考えました。

### 保護者の感想

- ・グループでよく話し合い、自分の思っていることをきちんと答えていた様子が見られました。
- ・「あやまることの大切さ」と「責任をとることが必要になる」と教えていただいてよかったですと思います。
- ・グループでの話し合いからクラスの仲のよい雰囲気を感じられました。よい意見が出ていましたが、もっとたくさんの子の意見も聞いてみたいなと思いました。



## 6年の授業

「お母さんへの手紙」という教材を読み、生きることのさばらしさについて考えました。

### 保護者の感想

- ・心の動かし難い資料に触れることができる「道徳」の時間が確保されていることをとても有り難く思いました。子どもたちが話し合いの中で自分の意見を言っていることに感動しました。
- ・命について、尊さを少しでも学べたかなと思います。人それぞれ考え方や感じ方が違うので、子どももいろいろな人の意見を聞き感じ取ることができたのではないのでしょうか。
- ・友達の意見を聞く機会がたっぷりあり、それぞれの幸せを感じられたと思う。



## 2年の授業



「さるへいと立てふだ」を読み、うそと正直について考えました。

- ・ 道徳の授業でうそをつくということについて考える勉強は、とてもよいと思いました。子どもも、この授業でうそをつくとどうなるかを少しでも考えられたのではないかと思います。うそをつかず正直にこれから成長して生活してほしいと思います。
- ・ 帰りに子どもに話を聞いたら「おこられちゃうからうそつかない」と言っていました。どうしてうそをついてはいけないのか、正直にするとよいことはどんなことか、親子で話合うきっかけになりました。
- ・ 子どもたちはいろいろな考えがあり、発想豊かと思いました。うそは悪いと思っているし、素直な気持ちもあって、違う考えもあって、正直驚きました。

## 3年1組の授業



「一りん車のれた」を読み、めあてに向かってやり抜くことについて考えました。

- ・ できないことに挑戦し、途中でできなくて辛い思いや経験から、やめたいと正直に話す子どもたちも本当の気持ちであると思いついて見ましたが、最後には全員がやり遂げられたうれしい気持ちを共感していたように思いました。実際の経験でも、これからはがんばろうという気持ちができればよいと思いました。
- ・ 教材の内容と自分の経験そして自分の思いを考えながら友達の意見に耳を傾ける姿に成長を感じました。まだまだ自分の好き嫌いで物事を判断する幼さにも笑ってしまいました。家庭でも折に触れ、道徳観について伝えていきたいと思いました。合わせて学校でも、いろいろな体験や感情も学んでほしいと思います。
- ・ 人はいろいろな考えがあることがよくわかったと思います。その意見には人それぞれの意味があることも分かりました。ただ、苦しいことをがんばり続けるのはとても大変で、痛い思いもしなければならぬけれど、その先にはとてもよいこと、楽しいことが待っていることが理解できたのではないのでしょうか。

## 4年の授業



「お母さんのせいきゅう書」を読み、家族の助け合いについて考えました。

- ・ 今日の授業を通して、子どもが毎日の生活を当たり前のことと思わず、家族みんなが協力し合って生活が成り立っていることを気付くことのできる、とてもためになる授業だと思います。夕食後には自分から進んで後片付けのお手伝いをしてくれました。
- ・ お手伝いをするのはなぜかとの問題に、しっかりと考えて答えを出していたと思います。これからもおてつだいをしてくれるとのことで、成長したなと改めて感じました。
- ・ わたしも子どもも家族のためにできること、やっていることを、改めて考えるよい機会になりました。

## 5年の授業



「同じ空の下で」を読み、外国の人々との違いを認め合いながら、自分たちとの共通する「感じ方」や「思い」について考えました。

- ・ 子どもたちなりに考え、いろいろな意見を出し合うことができよかったです。世界の子どもたちと自分たちの違い、厳しい環境で生きている外国の子どもたちについて学べるよい機会だったと思います。
- ・ 日本だけでなく、世界に目を向けることで、今の自分たちがどれほど恵まれているか少しでも考える機会を持つことができよかったです。子どもたちにもそういったことが伝わった授業だと思います。なかなかそういうことを考える機会がないので、子どもともいろいろと話したいと思います。
- ・ 子どもたちが、外国の方々について少しでも考えていることがあるということがわかりました。これからは、まわりにも目を向けてほしいなと思いました。家でも話したいと思いました。